

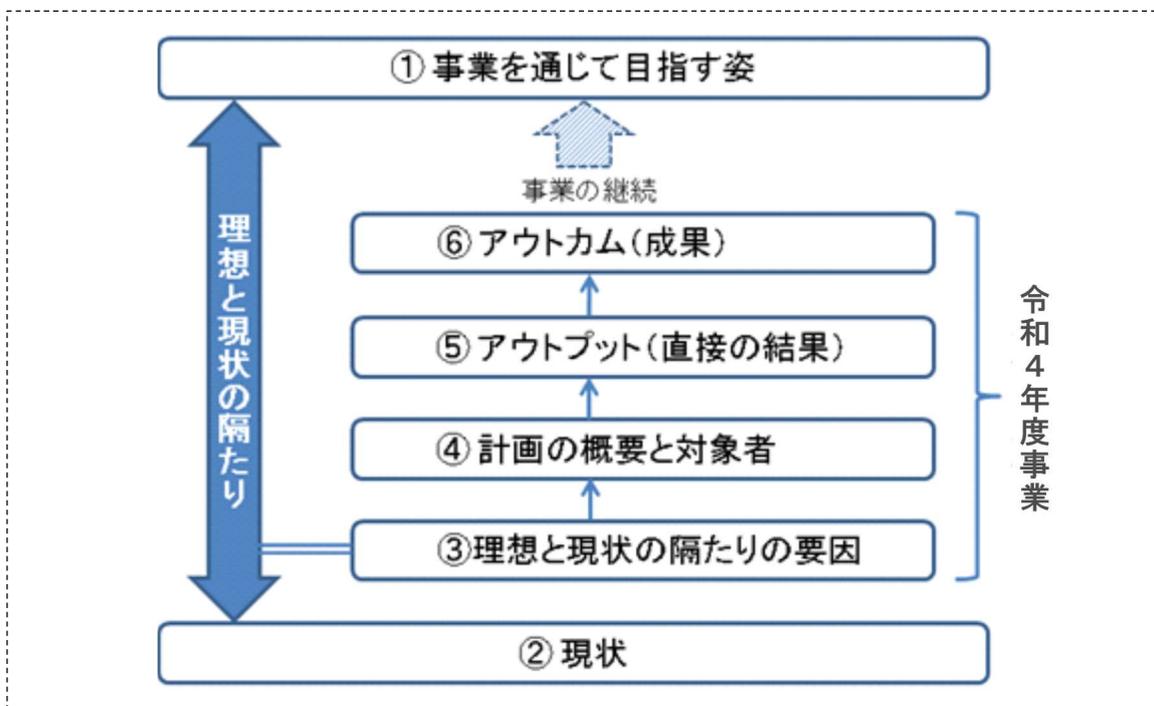
事業計画書

◆ 記入する項目

事業名	ミルクボランティア育成のためのハンドブック作成事業	
グループ名	ミルクボランティアハンドブック作成実行委員会	
代表団体	名称	NPO 法人倉敷猫まもりの会
	住所	倉敷市玉島乙島 8256-37 マキシマ電業1階
	担当者	戸張 和子
	電話番号	090-2805-4348
	E-mail	erusinoa55@gmail.com

の関係図

次の図は、この事業計画書の各項目の関係を示したものです。以下、この図を意識しながら、各項目に記入する内容を検討してください。



◆ アウトプット（直接の結果）とアウトカム（成果）について

アウトプットとは 事業の直接の結果であり、事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスが提供されたかをいいます。

アウトカムとは 事業の成果であり、アウトプットが地域や社会、人にもたらす変化や効果をいいます。事業はこのアウトカムを生み出せるように計画します。アウトカムには、アウトプットに直結した短期のものと、目指す姿へつながる長期のものがあります。

アウトプットとアウトカムの関係

事業を実施すると、まず、○○○というアウトプットが生じ、次にその成果として、△△△というアウトカムが生じる関係にあります。

事業実施→アウトプット→アウトカム

◆ アウトプットとアウトカムの例

事業名	活動	アウトプット	アウトカム（短期）	アウトカム（長期）
学習支援事業	学習会の開催	月4回、各回20名参加	参加者の学習意欲の向上	家庭での学習習慣の定着
就労支援事業	冊子作成・配布	1千冊作成、800人に配布	就労に必要な知識の習得	就労の定着、経済的自立
保護者支援事業	居場所の運営	週2回、各回15名参加	育児の負担感の緩和	子どもの健やかな成長
移動支援事業	高齢者の送迎	週2回、各回5名利用	移動手段の選択肢の増加	移動困難者の減少

1 事業を通じて目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。事業の実施により、地域課題が改善に向かった後、「どのような地域・人が、どのような状態になっていることを目指すのか」について、具体的に記入してください。

高梁川流域地域で活動する猫の保護団体・あさくち HappyCats が、特殊な技能や経験を要する乳飲み子の育て方を学び、保護活動の範囲を広げる。

ミルクでの飼育を学ぶことで、死亡率の高い乳飲み子を少しでも多く助けることができるようになる。また、乳飲み子・子猫の保護により、放置され野良猫になってしまう猫を減らす。

NPO 法人倉敷猫まもりの会としても、当会の理念である「倉敷市内で『誰も望んでいない猫の殺処分』をなくす仕組みを作ること」を目指しており、猫の飼い主や里親希望者への適切な飼育方法の指導や、猫を保護した人・ボランティアを始める人を対象に、乳飲み子・子猫の育て方とともに譲渡の仕方や感染症の注意点など情報提供する。今回作成するハンドブックを、ミルクボランティア育成に役立てるものとし、また保護猫を助けたいと思う人が保護団体に頼るのみでなく自ら保護できるサポートツールとして周知していく。

今後において NPO 法人倉敷猫まもりの会とあさくち HappyCats との連携を深め不幸な野良猫を減らし、住み続けられるまちづくりを目指す。

2 現状

1 「事業を通じて目指す姿」と比べて、現状はどのような状況にありますか。「どのような地域・人が、どのような状況にあるのか」について、具体的に記入してください。

浅口市において活動中の団体・あさくち HappyCats では、ミルクボランティアがいないため乳飲み子の受け入れが難しい。また保護依頼により受け入れたとしても乳飲み子のケアが不十分な状態である。

倉敷市においても保健所に収容される子猫の数は年間約 150 匹以上で、そのほとんどを NPO 法人倉敷猫まもりの会が引き取るため、ミルクボランティアがいなければ殺処分を待たずに命をなくす状況である。

NPO 倉敷猫まもりの会では、令和 2 年度から倉敷市市民企画提案事業としてミルクボランティア育成に取り組んでおり毎年ミルクボランティアが増えてきたが、時期によっては乳飲み子の保健所への持ち込みが集中し、現在活動中のミルクボランティアに大きな負担をかけている。同時に会の活動を通じて市民の方々から直接当会への子猫の保護依頼が増えたが、現在すべての案件に対応できる環境も整っておらず、さらにミルクボランティア育成に取り組みボランティアを増やす必要があると考えている。

また、保護した時点での対応が乳飲み子・子猫の生存率に大きく影響するが、子猫の中でも乳飲み子の保護の仕方については情報がすくないため周知していく必要がある。

3 目指す姿と現状の隔たりの要因

1 「事業を通じて目指す姿」と 2 「現状」との隔たりを生み出している、主な原因はどのようなものと考えますか

- ・乳飲みの猫は、ある程度育っていて自分で食事をする子猫とは違い、3 時間おきの授乳や排泄の世話、保温や急な体調不良に対する適切な処置など、細やかな体調管理が必要であり、個人への負担が大きくボランティアをしてくれる方が少ないこと。
- ・ミルクボランティアをはじめたい人への情報量が少なく、経済的負担として、ミルクや医療費・エサ代を多く負担しないといけないかもしれないといった不安や、預かった後に死んでしまうかもしれないといった不安などから、ボランティアになろうと思う人が少ないこと。
- ・乳飲み子の育て方の情報が少ないため、保護した場合でもどのように対応していいかわからない。

4 計画の概要と対象者（令和5年度）

(1) 事業の形式

次のいずれか該当する事業の形式に☑をしてください（両方でも可）。

<input checked="" type="checkbox"/> 実践を通じてグループ内でノウハウを受け継ぐ事業 <input type="checkbox"/> グループ内の団体それぞれが持つノウハウを持ち寄り，地域の新たな催しや地域資源を開発する事業

(2) 計画の概要

3 「目指す姿と現状の隔たりの要因」を取り除くため，どのような事業を実施しますか。
「どのような地域・人に対して，どのような活動を行うのか」について，簡潔に記入してください。（※計画の詳細は下記7に記入してください）。

<p>NPO 法人猫まもりの会では保護猫のほとんどが子猫で，中でも乳飲み子の割合が半数以上のため，活動を通して培ってきた経験をハンドブックとして作成しミルクボランティア講習会を実施することで，ミルクボランティア育成をするとともに地域住人にも周知していく。</p>

5 アウトプット（直接の結果）

(1) 事業を通じて提供するサービス

事業を通じて，「どのような地域・人に対し，どのようなサービスを提供するのか」について，具体的に記入してください。

<p>倉敷市・浅口市において，ミルクボランティアを育成するため，ハンドブックを作成し講習会を実施する。</p>

(2) アウトプットを測る指標と数値目標

事業のアウトプットを測る指標はどのようなものですか。「どのような項目が，現状はどの程度で，それをどの程度にしたいのか」について，具体的に記入してください。

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
ミルクボランティア講習会	0人	10人
冊子配布	0冊	100冊

(3) アウトプットの測定方法

事業を通じて、アウトプットを測る指標をどのように測りますか。数値目標の達成状況を把握できる、具体的な方法を記入してください。

冊子の配布数で数える
 ミルクボランティアの人数で数える
 保護数で数える

6 アウトカム（事業の成果）

(1) 長期のアウトカム

1 「**事業を通じて目指す姿**」の一段階手前の状況はどのようなものですか。最終的に実現しようとしている、地域・人の変化や効果を具体的に記入してください。

高梁川流域地域において、乳飲み子の育て方を学びミルクボランティアを育成することで、一匹でも多くの乳飲み子を助ける。また、そのことにより放置した状態では死亡する、または育ったとしても野良猫が増えていくという状況を防ぐことができる。

(2) 短期のアウトカム

今年度の事業のアウトプットを通じて、実現したい成果はどのようなものですか。アウトプットから今年度中に導かれる地域・人の変化や効果を具体的に記入してください

浅口市においてミルクボランティアを育成することで、あさくち HappyCats が今後乳飲み子の受け入れを可能にし保護活動の幅を広げていく。

(3) 短期のアウトカムを測る指標と数値目標

事業のアウトカムを測る指標はどのようなものですか。「どのような項目が、現状はどの程度で、それをどの程度にしたいのか」について、具体的に記入してください。

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
ミルクボランティアの数	0人	2人
保護数の数	0匹	4匹

7 計画の詳細

(1) 事業の具体的な内容

※内容, 対象者, 実施期間, 実施場所, ねらい等を具体的に記入してください。

[冊子の作成]

冊子の内容(仮)

- ① 乳飲み子とは(または、ミルクボランティアとは)
- ② 乳飲み子の育て方
- ③ 感染症など気を付ける病気について
- ④ 譲渡する時の注意
- ⑤ 野良猫を増やさないために

[ミルクボランティア講習会]

ミルクボランティアを育成するための講習会の実施

浅口市において、猫が好きでミルクボランティアに興味がある方を対象に講習会を開催する

- ・ 現在の浅口市・倉敷市での猫の現状
- ・ 乳飲み子の育て方
- ・ 適切な飼育方法を説明(完全室内飼い、避妊・去勢の必要性)
- ・ 猫の預かりからお世話の仕方、里親の見つけ方の説明
- ・ 個別相談 (質疑応答など)

(2) 事業のスケジュール (準備～実施～報告)

7月	冊子の構成の検討
8月	材料集めのための打ち合わせ
9,10月	原稿作成
11月	デザイン会社入稿
12月	冊子校正 中間報告提出
1月	印刷予定
2月	納品
3月	ミルクボランティア講習会 実績報告書提出

8 ノウハウとその有効性

ノウハウとは、団体が過去に実施した活動の中で習得したり、成功や失敗の経験から得たりした、地域の課題解決に有効な手法や技術などの蓄積を言います。それぞれの団体が有するノウハウの内容と、それを事業にどのように活かせるのかについて、具体的に記入してください。

NPO 倉敷猫まもりの会は、活動初期より倉敷市保健所から乳飲み子・子猫を引き出し、飼養して譲渡する活動をしてきた。当初は低体温や低血糖などで亡くなる子も少なくなかったが、最近では毎年200匹以上の子猫・乳飲み子の飼養と譲渡を経験したことにより、保護時すでに状態の悪い子や病気の場合を除いてはほとんど(保護数の8割以上)の子猫を里親さんに繋げている。また、適正な里親に譲渡することで、飼い猫が脱走して野良猫になったり子猫が生まれたりといった不幸な猫が増えることを防いでいる。特にミルクボランティアに関しては受け入れる子猫の半数以上が乳飲み子で、その経験を冊子にまとめることで現在活動中のミルクボランティアのスキルアップや新しく始めるミルクボランティア育成に活かせると考えている。

あさくち HappyCats では、地域住人からの保護依頼を受け、子猫・成猫を保護し譲渡している。現在ミルクボランティアがいないため乳飲み子の保護依頼に関しては受け入れが難しい状況であり、今回の事業を通しメンバー自身もミルクボランティアについての知識を学ぶとともに新しくミルクボランティア育成に取り組む。ミルクボランティアの募集に関しては、浅口市にてミルクボランティア講習会を開催し SNS やチラシなどで参加者を募る。

9 事業完了後の取り組み

補助金の交付条件として、事業の完了後1年以内に、事業の成果を活かした取り組みを実施することとしています。事業の成果が継続して地域に根付くのに有効な取り組みであれば、その規模や内容は問いません。事業完了後に予定している取り組みの内容を具体的に記入してください。

(1) 事業の実施主体となる団体名

あさくち HappyCats (飼い主のいない猫をふやさない会)

(2) 事業完了後の取り組みの概要

あさくち HappyCats の目的である「浅口市及びその近郊における飼い主のいない猫による様々な問題を地域の環境問題として地域住民に働きかけ、人と動物が適切な環境を築ける地域活動」をミルクボランティア育成によって保護の範囲を広げる。

- ・春に最も多く保護される乳飲み子の収容を少しでも多くできるようにする
- ・子猫を保護し適正な里親に譲渡することで、いずれ野良猫となってしまう不幸な猫を減らす活動を進めていく

10 SDGs との関係

次のSDGsの17のゴールのうち、申請する事業に関する番号を選び、1～2個記入してください。なお、当補助金の要件を満たせば17（パートナーシップで目標を達成しよう）に該当しますので、あらかじめ記入しています。

① 11 ② _____ ③ _____

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

2030年に向けて世界が合意した持続可能な開発目標です。経済・社会・環境の諸課題の統合的な解決を目指し、17のゴールは基本コンセプトである「だれ一人取り残さない」を実現するために、分野別の目標としてまとめたものです。

17 パートナーシップで目標を達成しよう



収支予算書

	所属・役職	氏名
経理責任者	NPO 法人倉敷猫まもりの会 代表	塩田 陽子
経理担当者	NPO 法人倉敷猫まもりの会	戸張 和子

1 収入の部

科目	内訳	金額(円)	積算根拠
補助金		750000	※千円未満切り捨て, 上限 750 千円
その他	会から	27000	
収入合計		777000	(支出合計と一致)

2 支出の部

科目	内訳	金額(円)	積算根拠
人件費	冊子制作	108000	900 円×3h×10 日×4 人
	冊子企画	108000	900 円×6h×10 日×2 人
	講習会スタッフ	36000	900 円×4h×1 日×10 人
謝金		0	
旅費交通費	ガソリン代	20000	500 円×4 人×10 回
	ガソリン代 (講習会)	5000	500 円×10 人×1 回
消耗品費	コピー用紙	4000	A4 : 300 円×5 冊、B4 : 400 円×5 冊
	インク	15000	5000 円×3 個
	付箋紙	1000	200 円×5 冊
印刷製本費	デザイン料	110000	B5 : 60 ページ、1000 冊
	印刷料	360000	
通信運搬費		0	
保険料		0	
使用料・賃借料	会場費	5000	5000 円×1 回
委託料	チラシ外注	5000	200 枚
対象経費計		777000	
食糧費		0	
その他		0	
対象外経費計		0	
支出合計		777000	(収入合計と一致)

※金額は切り上げて千円単位で記入してください。